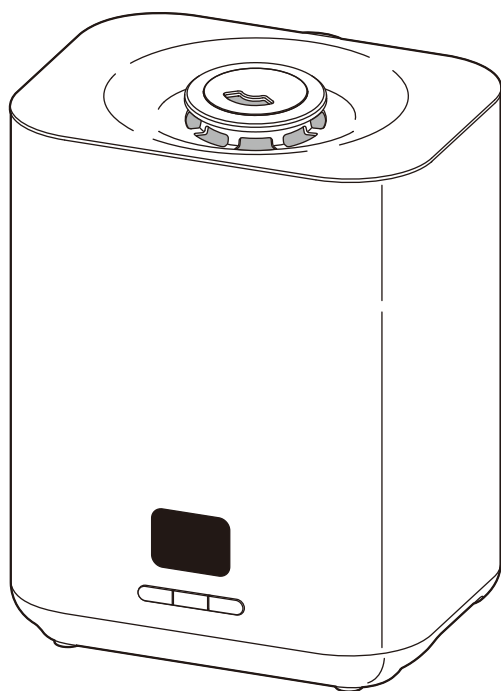


- 業務用として使用しないでください。
- 他の用途で使用しないでください。
思わぬ事故の原因になります。

家庭用

スチームファン式加湿器 KSF-GB402



もくじ

■ 安全上の注意	1～4
■ 各部の名称	5～6
■ 設置について	7
■ 使用前の準備	8～10
■ 知っておいていただきたいこと	11
■ 使いかた	
● 電源プラグを家庭用コンセントに 差し込む	11
● 加湿運転する	12
● タイマーを設定する	13
● スチームの方向を調節する	13
● 水槽の水位が規定以下になったときは	14
● 使用後は	14
■ お手入れと保管	15～20
■ 仕様	20
■ 故障かな?と思ったら	21
■ 点検のお願い	22
■ アフターサービスについて	22
■ 保証書	裏表紙

この製品は、海外では使用できません。
FOR USE IN JAPAN ONLY

- このたびは、弊社加湿器をお買い上げいただき、誠にありがとうございました。
- 使用する前に、この取扱説明書を必ずよく読み正しく安全に使用してください。
- 読んだあとは、大切に保管してください。

最新情報はオリジナルブランドページ

YAMAZEN BOOK を
チェック!



随時情報を更新中!

安全上の注意

使用する前に「安全上の注意」をよく読み、必ず守ってください。

※ここに示した項目は、製品を安全に正しく使用するためや、使用する人や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。また危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」「注意」の2つに区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。



警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、死亡または重傷を負うことが想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、傷害を負ったり物的損害の発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



① 記号は、禁止「してはいけないこと」を表示しています。図の中に具体的な禁止内容（左図の場合は、分解禁止）が描かれています。



② 記号は、強制「しなければいけないこと」を表示しています。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は、電源プラグをコンセントから抜く）が描かれています。

※読んだあとは、使用する人がいつでも手に取れる場所に、必ず保管してください。



警告

■ 電源コード・電源プラグ・マグネットプラグについて



電源プラグは、根元まで確実に差し込む

- 発熱・感電・火災の原因になります。

指示に従う

◎マグネットプラグをマグネットプラグ受けに接続してから、電源プラグをコンセントに差し込む。



禁止

家庭用コンセント（AC 100V）以外での使用、コンセントや配線器具の定格を超える使いかたはしない

- 家庭用コンセント（AC100V）以外で使用すると故障したり、延長コードやタコ足配線で定格を超えると、コンセントが異常発熱して、火災の原因になります。



定期的に電源プラグ、マグネットプラグ、マグネットプラグ受けのホコリをふき取る

指示に従う

- 電源プラグ、マグネットプラグ、マグネットプラグ受けにホコリがたまると、湿気などで絶縁不良となり、ショート・感電・火災の原因になります。

◎電源プラグ、マグネットプラグ、マグネットプラグ受けのホコリは、乾いたふきんでふき取る。



禁止

電源コード、電源プラグ、マグネットプラグ、マグネットプラグ受けが傷んでいたり、差し込みがゆるいときは、使用しない

- ショート・感電・火災の原因になります。



破損、故障、異常、水漏れがあったり、電源コード、電源プラグ、マグネットプラグが異常に熱くなるときは、直ちに使用を中止する

指示に従う

- やけど・感電・火災の原因になります。

※故障・異常例

22ページの「点検のお願い こんな症状はありませんか？」を参照して異常があるときは、直ちに使用を中止する。必ず電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店に点検・修理を依頼してください。



禁止

電源コード、電源プラグ、マグネットプラグ、マグネットプラグ受けを傷つけたり、破損させたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、たばねて使用しない

- ショート・感電・火災の原因になります。
- ◎使用するときには、必ず結束バンドを外して、電源コードをのぼす。



禁止

電源プラグをコンセントに差し込んだまま、マグネットプラグを外した状態で放置したり、接続面を触らない

- ショート・感電・火災の原因になります。

警告

■ 電源コード・電源プラグ・マグネットプラグについて つづき

 禁止 付属の電源コード以外を使用したり、他の機器に使用しない ●故障・発熱・火災の原因になります。 ●電源コードは、本製品専用です。 ◎他製品の電源コードを使用しない。 ◎他製品に転用しない。	 禁止 マグネットプラグやマグネットプラグ受けに、金属物や異物を付着させない ●ショート・感電・火災の原因になります。
 禁止 電源コードの上に、重いものや本体をのせたり、挟み込まない ●ショート・感電・火災の原因になります。	 使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜く ●やけど・感電・漏電火災の原因になります。 ◎マグネットプラグを取り外すときは、電源プラグを先に抜く。

■ 設置について

 禁止 可燃性ガスや引火性のもの（ガソリンやシンナーなど）がある場所に設置したり、本体の近くにスプレー缶（掃除用、整髪用、殺虫剤など）を置かない ●爆発・火災の原因になります。	 禁止 不安定な場所に設置しない ●落下や転倒して熱湯がこぼれたり、やけど・感電・火災の原因になります。 ◎安定した水平な場所に設置する。
 水ぬれ禁止 本体に水がかかる場所や水にぬれた場所に設置しない ●ショート・感電・火災の原因になります。	 禁止 電気製品や精密機器（パソコンなど）の近くに設置しない ●電気製品が加湿によって湿気をおびて、ショート・感電・火災の原因になります。

■ 使用について

 分解禁止 分解、修理、改造をしない ●やけど・感電・火災の原因になります。 ※修理は、お買い上げの販売店に依頼してください。	 禁止 子供や取り扱いに不慣れな方だけで使用しない 乳幼児の手の届く場所で使用したり、保管しない ●けが・やけど・感電の原因になります。
 禁止 すき間や開口部に、金属物や異物を入れない ●ショート・感電・火災の原因になります。	 禁止 ふた、ダクト、水路ガイドを取り外したまま使用しない ●本体や設置場所がぬれる原因になります。 ●熱により水タンクが変形するなどして、規定以上の水が蒸発皿に流れ込んで、水漏れ・感電・火災の原因になります。
 指示に従う 水タンクの水は、毎日新しく入れ替える ●カビや雑菌が繁殖して異臭がしたり、健康を害する原因になります。	 指示に従う 本体を持ち運ぶときは、必ず電源プラグをコンセントから抜き、十分冷めてからおこなう ●やけど・ショート・感電の原因になります。 ◎十分冷めるまで、持ち運ばない。
 接触禁止 使用中や使用後しばらくは、吹出口に手や顔を近づけたり、触れない ●やけどの原因になります。 ◎特に乳幼児には、触らせないように注意する。	

警告

■ お手入れ・保管について

 排水やお手入れのときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く ●ショート・感電の原因になります。	 ぬれた手で電源プラグを抜き差ししたり、マグネットプラグの取り外し、接続をしない ●ショート・感電の原因になります。
 排水やお手入れのときは、十分冷めてからおこなう 操作部、表示部、マグネットプラグ受けをぬらさないように注意する ●やけど・ショート・火災の原因になります。	 本体やマグネットプラグを水に入れたり、水をかけたり、丸洗いをしない ●ショート・感電・火災の原因になります。 ◎お手入れのときは、送風口に水をかけたり、水を入れないよう注意する。
 排水するときは、ふた、水タンク、ダクト、水路ガイド、水アカフィルターを取り外し、排水方向に従って排水する ●排水方向を間違えると、本体内部の電気部品に水が入り、ショート・感電・火災の原因になります。	 水アカフィルターを取り扱うときは、十分冷めてからおこなう ●やけどの原因になります。
 各種スプレー（掃除用、整髪用、殺虫剤など）を吹きつけない ●本体内部にガスが滞留するなどして、爆発・火災の原因になります。 ●変色・変質・破損の原因になります。	 お手入れに薬品、塩素系、酸性タイプの洗浄剤を使用しない ●有毒ガスが発生して、健康を害する原因になります。

注意

■ 電源コード・電源プラグ・マグネットプラグについて

 電源コードを引っ張って、電源プラグを抜いたり、マグネットプラグを取り外さない ●ショート・感電・火災の原因になります。 ◎必ず電源プラグやマグネットプラグを持って引き抜いたり、取り外す。

■ 設置について

 畳、じゅうたん、熱に弱い敷物（テールクロスなど）の上に設置しない ●変色・変形・火災の原因になります。	 直射日光があたる場所、火気や熱源（コンロや暖房器具など）の近くや上など、温度が高くなる場所に設置しない ●変質・変形・水漏れの原因になります。
 湿度の高い場所（70%以上）に設置しない ●家具や床を湿らせたり、ぬらす原因になります。	

⚠ 注意

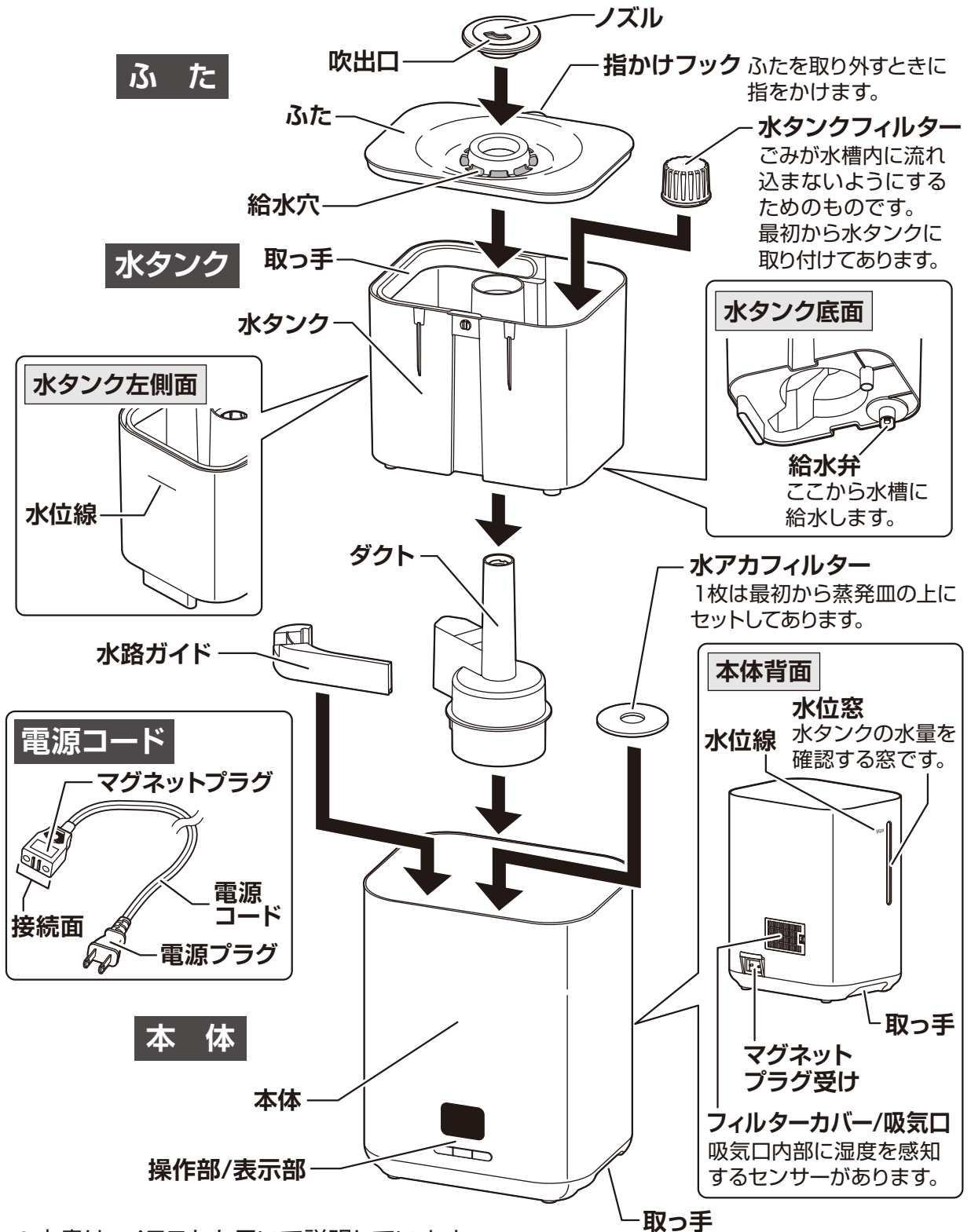
■ 使用について

 業務用には使用しない ● 無理な負担がかかり、破損・故障・水漏れの原因になります。 禁止	 室内の加湿用途以外で使用しない ● やけど・感電の原因になります。 禁止
 犬や猫などがいる部屋で使用するときは、十分注意する 指示に従う ● 本体や電源コードを傷め、故障・感電・火災の原因になります。 ◎ 犬や猫などに使用しない。	 水タンクに水道水以外のものを入れない 禁止 ● カビや雑菌が繁殖しやすくなって健康を害したり、破損・故障・ふきこぼれの原因になります。 ◎ 下記のものは入れない ■ ミネラルウォーター ■ アルカリイオン水 ■ 浄水器の水 ■ 井戸水 ■ お湯 (40℃以上) ■ 汚れた水 ■ 化学薬品 ■ 除菌剤 ■ 芳香剤 ■ アロマオイル
 蒸発皿や水槽へ直接水を入れない 禁止 ● 水位が規定以上になり、スチームが出なくなったり、水漏れの原因になります。	 水位線またはMAX以上水を入れない 禁止 ● 水タンクから水があふれ水位が規定以上になり、スチームが出なくなったり、水漏れの原因になります。
 吹出口や吸気口をふさがない 禁止 ● 変形・故障の原因になります。	 水タンクの取っ手を持って振り回さない 禁止 ● 取っ手が破損し、けがの原因になります。
 本体を持ち運ぶときは、本体底面の取っ手をしっかり持っておこなう 指示に従う ● 破損・故障・けがの原因になります。 ◎ 持ち運ぶときは、水タンクを取り外してからおこなう。	 使用しないときや凍結のおそれがあるときは、水タンク、水槽、蒸発皿の水を排水しておく 指示に従う ● カビや雑菌が繁殖して異臭がしたり、水タンクが割れて、水漏れや故障の原因になります。

■ お手入れ・保管について

 お手入れには、シンナー、ベンジン、漂白剤、みがき粉、たわし、スポンジの研磨面を使用しない 禁止 ● 傷・変質・破損の原因になります。 ◎ お手入れは、15～20ページの「お手入れと保管」を参照する。	 お手入れは、こまめにおこなう 指示に従う ● 蒸発皿に水アカが付着したまま放置すると、加湿量の低下や水漏れの原因になります。  本体に腰かけたり、重いものをのせない 禁止 ● 破損・故障・けがの原因になります。
--	---

各部の名称

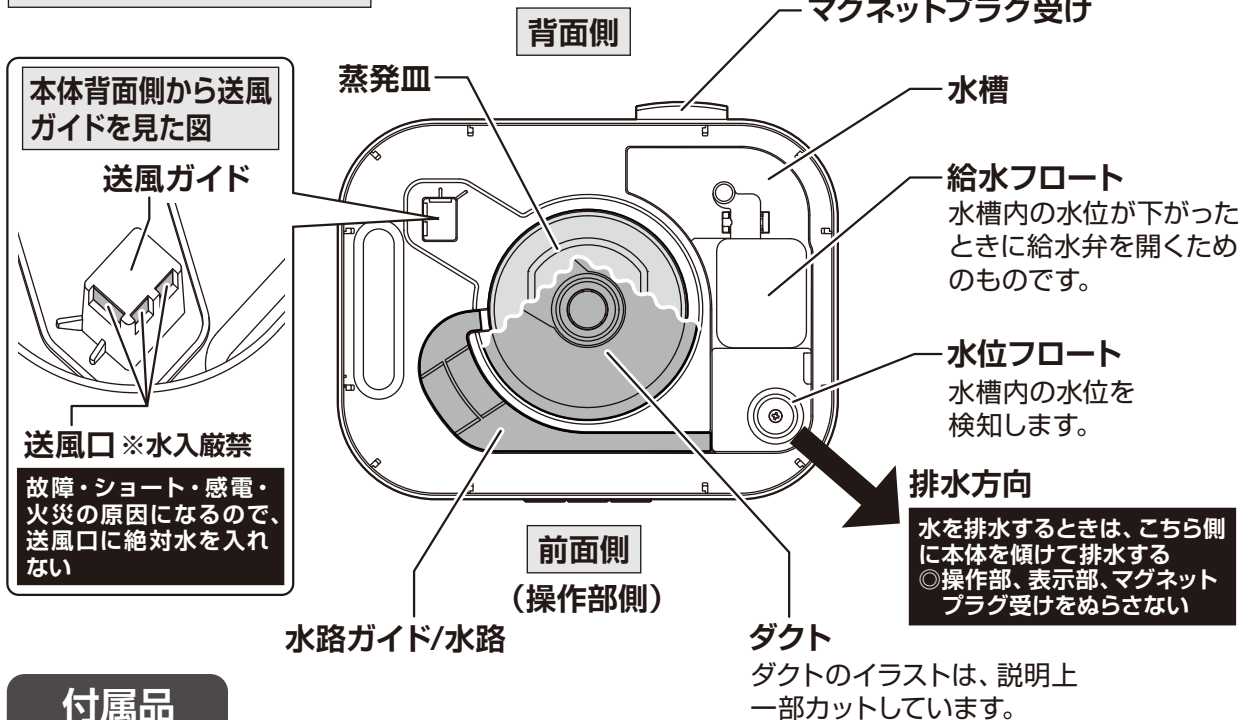


●本書は、イラストを用いて説明しています。
実際の製品とは、多少異なることがあります。

■ **お知らせ** 検査のために使用した水が、製品に付着していることがありますが、品質やご使用上、影響はありません。
気になるときは、ゆすいだり、ふき取ってください。

各部の名称

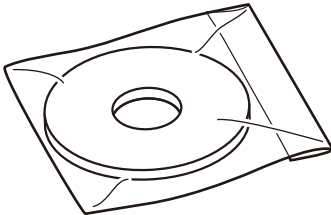
本体を上から見た図



付属品

交換用水アカフィルター (1枚)

- 交換用1枚



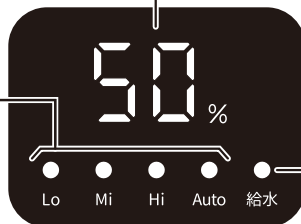
水アカフィルターとは

- 水道水に含まれているカルキ (カルシウムなどのミネラル分) が、水アカとなって蒸発皿やダクトに付着します。
水アカフィルターでカルキを吸着することで、蒸発皿やダクトへの水アカの付着を軽減します。

操作部/表示部

加湿量ランプ

加湿運転中：点灯
冷却送風運転中：点滅
(設定中のランプが点灯または点滅します)



表示部

センサーで感知した湿度やタイマー時間を表示します。

■ 湿度の表示について

31%~79%までは数字で表示
30%以下のときは「Lo」
80%以上のときは「Hi」と表示します。

給水ランプ (赤色)

水槽の水位が規定以下になったとき
冷却送風運転中：点滅
加湿運転停止中(待機状態)：点灯

タイマーボタン

電源ボタン

加湿量ボタン

設置について

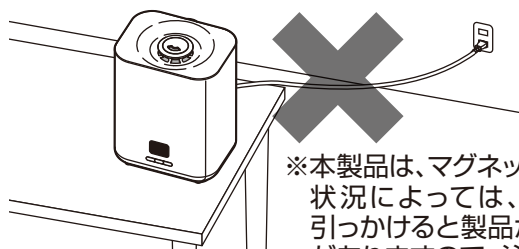
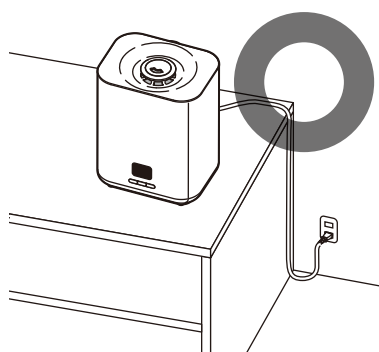
下記に注意して設置します。

正しい設置場所

- 吹出口から上方1m以内にスチームをさえぎるものがなく、壁や家具などとの距離が十分に確保できる、安定した水平なテーブルや台の上に設置します。

注意：電源コードを引っかけないように注意する

- 電源コードを浮かせたり、人が通る場所に這わせたりすると、電源コードを引っかける原因になります。



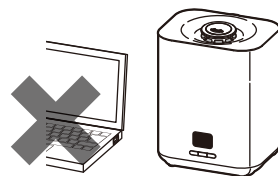
※本製品は、マグネットプラグですが状況によっては、電源コードを引っかけると製品が転倒することがありますので、注意してください。

※設置するときは、必ず安定した水平なテーブルや台の上に設置してください。

こんな場所には設置しない

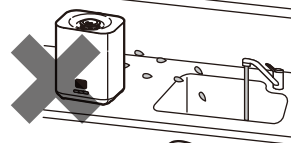
- 電気製品や精密機器(パソコンなど)の近く

- 電気製品や精密機器が加湿によって湿気をおびて、故障・ショート・感電・火災の原因になります。



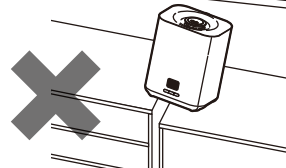
- 本体に水がかかる場所や水にぬれた場所

- ショート・感電・火災の原因になります。



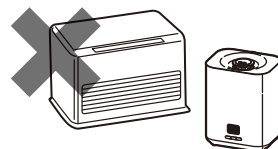
- 傾いた場所や不安定な場所

- 落下や転倒して熱湯がこぼれたり、やけど・感電・火災の原因になります。



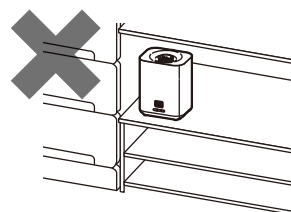
- 直射日光が当たる場所、火気や熱源(コンロや暖房器具など)の近くや上など、温度が高くなる場所

- 熱により本体や水タンクが変形するなどして、水漏れの原因になります。



- 周囲が囲まれた場所やスチームが壁、家具、カーテン、天井、紙類(ふすま、書物、ポスターなど)に直接当たる場所

- 壁や家具などにシミができたり、変形する原因になります。
※高級家具などがある場所で使用するときは、特に注意してください。



使用前の準備

必ずお守りください

※水を入れるときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いておこなってください。

水タンクに水を入れる

- 水を入れる前にふたと水タンクを取り外し、必ず水路ガイドやダクトが取り付けられているか確認します。

本体を上から見た図

背面側

マグネットプラグ受け

ダクト

水路ガイド

前面側

(操作部側)

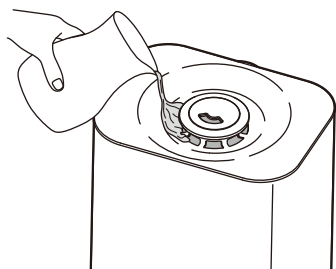
注意

※水路ガイドやダクトは、必ず取り付けてください。

水路ガイドやダクトが取り付けられていないと、規定以上の水が蒸発皿に流れ込んだり、熱により水タンクが変形するなどして、水漏れ・ショート・感電・火災の原因になります。

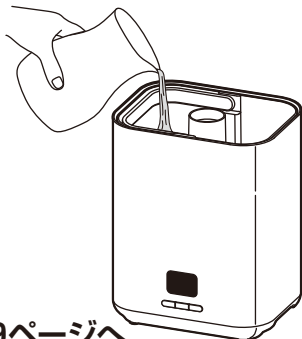
■ 本製品は、3通りの方法で水を入れることができます。

1 ふたの給水穴から水を入れる



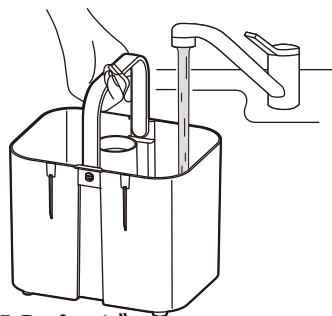
9ページへ

2 水タンクを取り付けたまま水を入れる



9ページへ

3 水タンクを取り外して水を入れる



10ページへ

⚠ 注意



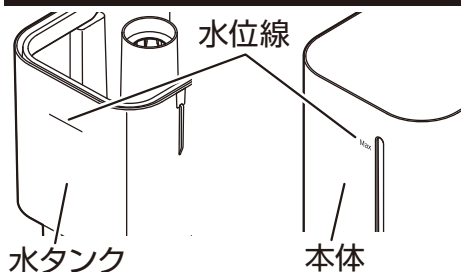
水タンクに水道水以外のものを入れない

●カビや雑菌が繁殖しやすくなって健康を害したり、破損・故障・ふきこぼれの原因になります。

○下記のものは入れない

- | | | |
|-------------|--------------|----------|
| ■ ミネラルウォーター | ■ お湯 (40℃以上) | ■ 化学薬品 |
| ■ アルカリイオン水 | ■ 汚れた水 | ■ 除菌剤 |
| ■ 浄水器の水 | | ■ 芳香剤 |
| ■ 井戸水 | | ■ アロマオイル |

水位線またはMAX以上水を入れない

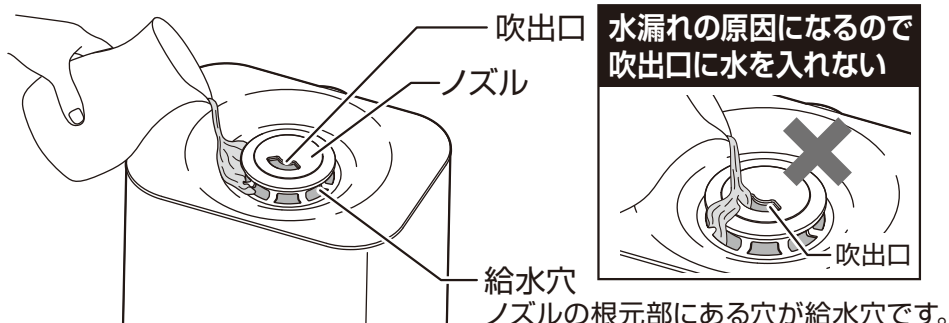


使用前の準備

水タンクに水を入れる つづき

給水方法 1 ふたの給水穴から水を入れる

- 注ぎ口のある水差しなどを使用して、ゆっくりとふたの給水穴に水道水を入れます。

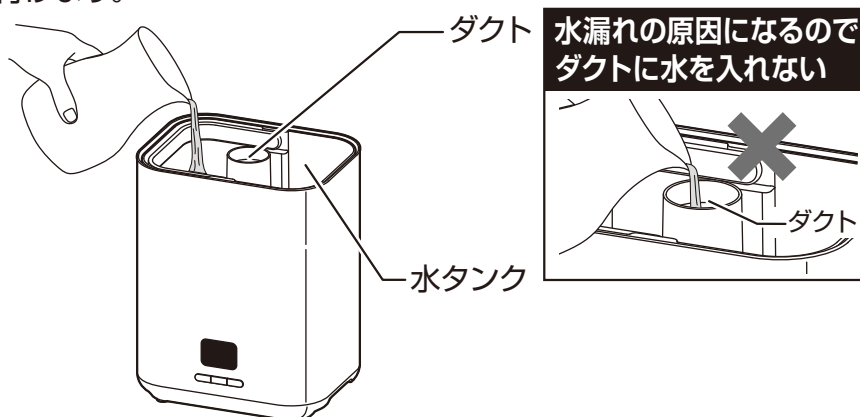


注意

- ※水を入れるときは、吹出口に水を入れないように注意してください。
規定以上の水が蒸発皿に入り、熱湯があふれるなどして、水タンクの変形・水漏れ・感電・火災の原因になります。
- ※給水穴から水を入れるときは、給水穴周辺に大きなホコリやごみがないか確認してください。
大きなホコリやごみが水タンク内に入ると、水タンクフィルターが目詰まりしたり、給水弁が詰まるなどして、水槽に水が流れなくなる原因になります。

給水方法 2 水タンクを取り付けたまま水を入れる

- ふたを取り外します。
- 注ぎ口のある水差しなどを使用して、水タンクに水道水を入れます。
- ふたを取り付けます。



注意

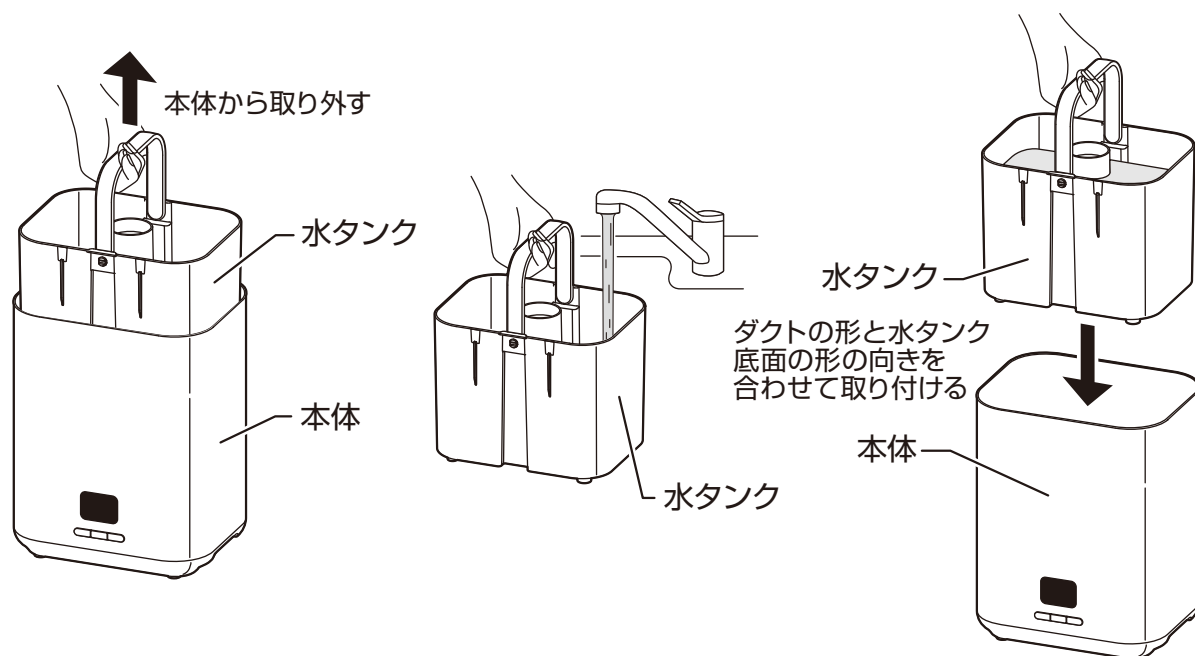
- ※水を入れるときは、ダクトに水を入れないように注意してください。
規定以上の水が蒸発皿に入り、熱湯があふれるなどして、水タンクの変形・水漏れ・感電・火災の原因になります。

使用前の準備

水タンクに水を入れる つづき

給水方法 3 水タンクを取り外して水を入れる

- ふたを取り外してから、取っ手を持って水タンクを取り外します。
- 水タンクに水道水を入れます。
- ダクトと水タンクの向きを合わせて、本体にゆっくりと取り付けます。
このとき水が水槽に流れ込んでいるか、水タンクを一度持ち上げて確認します。
- ふたを取り付けます。



注意

- ※水タンクは、水タンクの取っ手と底面をしっかり持って、ゆっくり持ち運んでください。
水タンクから水がこぼれて、衣服や床などをぬらす原因になります。
- ※水タンクは、確実に取り付けてください。
浮き、傾きなどがあると水タンクから水が流れなくなり、給水ランプ（赤色）が点灯して加湿運転できなくなることがあります。
- ※取り付けたあと、水タンクを何度も持ち上げないでください。
規定以上の水が蒸発皿に流れ込み、熱湯があふれるなどして、水タンクの変形・水漏れ・感電・火災の原因になります。
- ※水の入った水タンクを取り付けたまま、本体を持ち運ばないでください。
規定以上の水が蒸発皿に流れ込み、熱湯があふれるなどして、水タンクの変形・水漏れ・感電・火災の原因になります。
本体を持ち運ぶときは、必ず水タンクを取り外して持ち運んでください。
水タンクを再度取り付けるときは、蒸発皿や水槽に残っている水を排水してください。

知っておいていただきたいこと

必ずお守りください

本製品は、スチームで加湿しています。

やけどをしないために、次のことを必ず守ってください。

- 乳幼児の手の届く場所で使用しない。
- 傾いた場所や不安定な場所で使用しない。
- 使用中や使用後しばらくは、吹出口に手や顔を近づけない。
- スチームを吸入しない。(本製品は、吸入器ではありません)

スチームについてのお知らせ

- 本製品は、ヒーターで水を加熱して沸騰させたスチームで加湿するため、スチームが発生するまでに多少の時間がかかります。
また加湿運転中は沸騰音がしますが、故障や異常ではありません。
- 室温が高かったり、湿度が低いなどの使用環境によっては、スチームが空気中に気化しやすくなるなどで、使い始めや加湿運転中にスチームが見えにくいことがあります。

表示部やランプの減光について

- 本製品は、無操作状態で約10秒間つづく、表示部やランプが減光する仕様となっています。
- 減光している状態で、加湿量ボタンやタイマーボタンを操作すると、一時的に表示部やランプが明るくなります。
ボタン操作後、再度無操作状態が約10秒間つづく、再度減光します。

メモリー機能について

- 加湿運転終了時の加湿量設定状態を記憶する、メモリー機能が付いています。
 - メモリー機能が働いている状態で電源を入れると、前回加湿運転終了時に設定していた加湿量「Lo」、「Mi」、「Hi」、「Auto」のいずれかで、加湿運転を開始します。
 - メモリー機能は、電源プラグをコンセントから抜くなど、電源が供給されなくなるとリセットされます。(メモリー機能リセット時は、「Lo」で加湿運転を開始します)

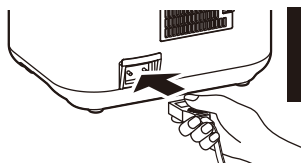
照明器具のちらつきについて

- 本製品は、ヒーターを制御して水温や加湿量を調節しながら運転しており、制御にともなって消費電力が変動します。
消費電力が変動することで屋内の電圧が変動して、お使いの照明器具の種類によっては一瞬暗くなったり、ちらつくことがあります。

使いかた

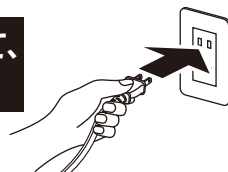
電源プラグを家庭用コンセント(AC 100V)に差し込む

- マグネットプラグをマグネットプラグ受けに接続します。
- 電源プラグを根元まで確実に、家庭用コンセント(AC100V)に差し込みます。



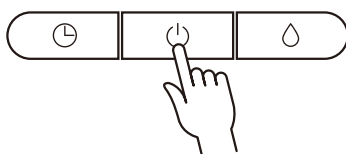
先にマグネットプラグ
を接続する

必ず結束バンドを外して、
電源コードをのばす

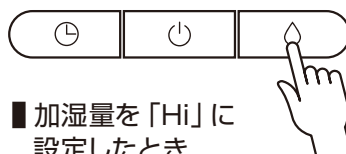


使いかた

加湿運転する



■ センサーが感知した湿度を表示します。（上図は感知した湿度が50%のとき）



■ 加湿量を「Hi」に設定したとき

冷却送風運転中



■ 設定中の加湿量ランプが点滅します。（上図は「Hi」設定中）

- 電源ボタンを押します。
- 「ピッ」と音が鳴り、加湿量ランプ「Lo」が点灯して、「Lo」で加湿運転を開始します。
表示部に現在湿度を表示します。
- 加湿量ボタンを押して、お好みに合わせて加湿量を設定します。
- 加湿量ボタンを押すごとに「ピッ」と音が鳴り、下記のように順送り加湿量が変わります。
- 加湿量ランプを見ながら設定します。

Lo → Mi → Hi → Auto
↑

- 約4～6分後に、吹出口から徐々にスチームが出ます。（Hi 運転時、室温20℃、水温20℃のとき）

加湿量設定	加湿量（約）
Lo	200mL/h
Mi	350mL/h
Hi	500mL/h
Auto	自動加湿運転

■ 自動加湿運転について

- 「Auto」に設定すると、湿度（湿度表示）が50%～60%になるように、湿度状況に合わせて「Lo」、「Mi」、「Hi」を自動的に切りかえて加湿運転します。

- 加湿運転中に電源ボタンを押すと、設定中の加湿量ランプが点滅して、1分間の冷却送風運転をおこないます。
- 冷却送風運転終了後、加湿量ランプが消灯して電源がOFFになります。

冷却送風運転について

- 本製品は、電源がOFFになる前にダクトやノズル（吹出口）を冷やすため、1分間の冷却送風運転をおこないます。
- 冷却送風運転中は、電源ボタンのみ操作を受けつけます。（水槽に水があるときのみ）
水槽に水があるときは、冷却送風運転中でも電源ボタンを押すと、加湿運転を再開します。

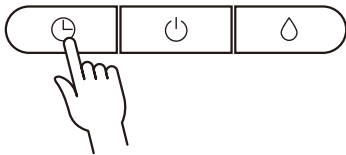
表示部の湿度表示について

- 湿度表示は、31%～79%までは数字で表示、30%以下のときは「Lo」、80%以上のときは「Hi」と表示します。
- 湿度表示は、本体に内蔵されたセンサーで本体周辺の湿度を感知して表示しています。そのため、お部屋の湿度計と異なることがあります。
- 本体周辺（特に背面側）に水分や湿気があったり、吸気フィルターがホコリなどで目詰まりすると、正しく湿度が表示されないことがあります。

使いかた

タイマーを設定する

■ 設定した時間が経過すると電源がOFFになります



■ 加湿量を「Hi」でタイマーを4時間に設定したとき

- 加湿運転中に、タイマーボタンを押します。
- 表示部がタイマー時間表示にかわります。
- タイマーボタンを押すごとに「ピッ」と音が鳴り、下記のように順送りでタイマー時間がかかります。
- 表示部を見ながら設定します。



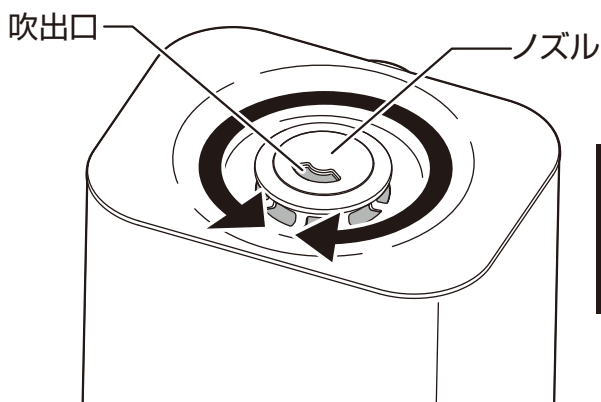
- 時間が経過すると、電源OFFまでの残り時間を1時間単位で表示します。
- 設定した時間が経過すると、設定中の加湿量ランプが点滅して、1分間の冷却送風運転をおこないます。
- 冷却送風運転終了後、加湿量ランプが消灯して電源がOFFになります。

お知らせ

- タイマー設定中は、表示部がタイマー時間表示優先になります。
- 加湿量ボタンを押すと、一時的（約5秒間）に現在湿度表示にかわります。現在湿度表示中（約5秒間）に加湿量ボタンをもう一度押すと、加湿量の設定をかえることができます。
- タイマーが設定されているときに水槽の水位が規定以下になると、加湿運転が停止してタイマーが解除されます。

スチームの方向を調節する

- ノズルは、360度回転させることができます。
- お好みに合わせて調節します。



やけどの原因になるので、
加湿運転中は、
絶対に調節しない

使いかた

水槽の水位が規定以下になったときは

冷却送風運転中



- 加湿運転中に水槽の水位が規定以下になると、「ピッ、ピッ、ピッ、ピッ、ピッ」と音が鳴り、給水ランプ（赤色）が点滅して加湿運転が停止し、1分間の冷却送風運転をおこないます。
- 冷却送風運転終了後、給水ランプ（赤色）が点灯にかわり待機状態になります。

冷却送風運転終了後の待機状態



- 水槽の水位が規定以下になったとき給水ランプ以外の表示がすべて消灯します。

加湿運転を継続するとき

- 水タンクに水を入れます。
- 水槽に水がたまると、自動的に加湿運転が再開します。

加湿運転を継続しないとき

- 冷却送風運転が終わったら、電源ボタンを押します。
- 給水ランプ（赤色）が消灯して、電源がOFFになります。

冷却送風運転について

- 本製品は、待機状態になる前にダクトやノズル（吹出口）を冷やすため、1分間の冷却送風運転をおこないます。
- 水槽の水位が規定以下のときは、冷却送風運転中にボタン操作をしても、すべてのボタン操作を受けつけません。

注意

※蒸発皿に熱湯が残っていますので、十分冷めるまで本体を倒したり、傾けたりしないでください。

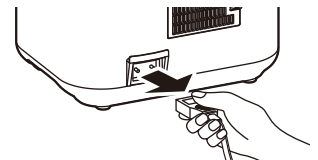
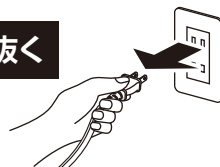
熱湯がこぼれ、やけどの原因になります。

※冷却送風運転が終わっても十分冷めるまで、ふたや水タンクを取り外さないでください。やけどの原因になります。

使用後は

- 電源プラグをコンセントから抜きます。
- マグネットプラグをマグネットプラグ受けから取り外します。
- 十分冷めてから、蒸発皿や水槽に残っている水を排水します。

先に電源プラグを抜く



水が凍結するおそれがあるときは

- 水が凍結するおそれがあるときは、水タンク、水槽、蒸発皿の水を排水しておきます。
- ※万一凍結したときは、暖房器具や熱湯で溶かしたりしないで、常温で自然に溶かしてください。

お手入れと保管

水アカを放置すると固着して取れなくなったり、水漏れ、カビ、雑菌の繁殖、異臭の原因になります。

※こまめにお手入れをしてください。

※お手入れをするときは、けがを防止するためゴム手袋を着用してください。

警告



プラグを抜く

排水やお手入れのときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く

●ショート・感電の原因になります。



禁止

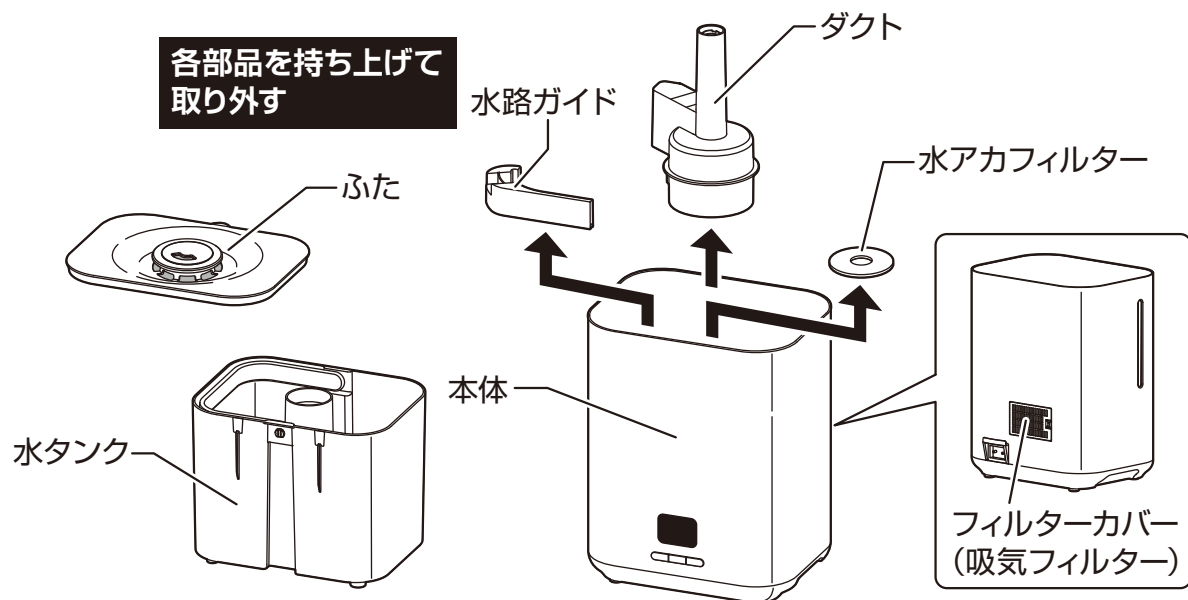
お手入れに薬品、塩素系、酸性タイプの洗剤を使用しない

●有毒ガスが発生して、健康を害する原因になります。

必ずお守りください

※お手入れをするときは、電源をOFFにして必ず電源プラグをコンセントから抜き、マグネットプラグをマグネットプラグ受けから取り外し、十分冷めてからおこなってください。

■ お手入れをするときは、各部品を取り外します。



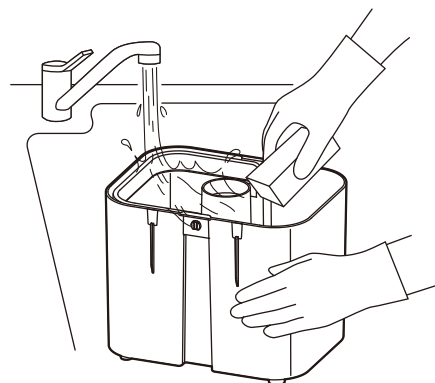
水タンク (毎回)

丸洗いです

- 食器用中性洗剤を柔らかいスポンジに含ませて、水洗いします。
- 洗剤が残らないように水で洗い流して、乾いた柔らかいふきんで水分が残らないようにふき取ります。
- お手入れ後は、水タンク外側の水気をきれいにふき取り、よく乾燥させます。

注意

※水タンクを取り外したときは、水タンク底面に付着した水滴が滴下して、衣服や床などをぬらすおそれがありますので、注意してください。



お手入れと保管

水タンクフィルター (1週間に1回以上)

丸洗いです

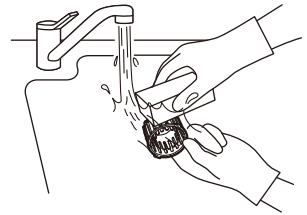
フィルターのお手入れ

- 薄めた食器用中性洗剤にフィルターを浸して、軽くもみ洗います。
- 洗剤が残らないように水で洗い流して、よく乾燥させます。



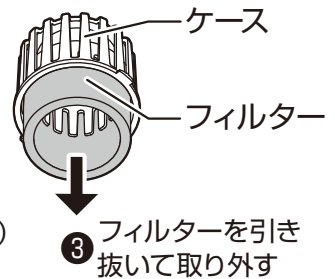
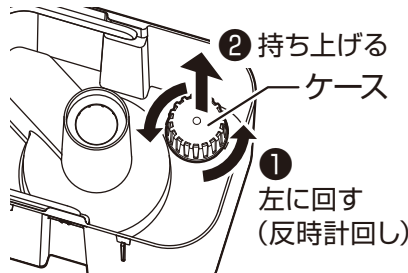
ケースのお手入れ

- 食器用中性洗剤を柔らかいスポンジに含ませて、水洗いします。
- 洗剤が残らないように水で洗い流して、乾いた柔らかいふきんで水分が残らないようにふき取り、よく乾燥させます。



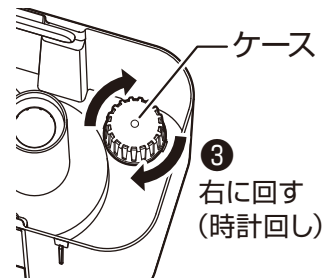
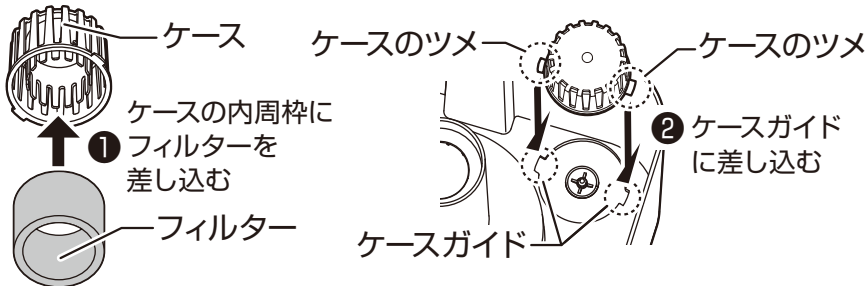
水タンクフィルターの取り外しかた

- ① ケースを止まるまで左に回します。
- ② ケースを持ち上げて取り外します。
- ③ 取り外したケースから、フィルターを引き抜いて取り外します。



水タンクフィルターの取り付けかた

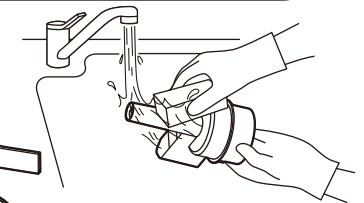
- ① フィルターをケースに差し込んで取り付けます。
 - ② ケースのツメを、水タンクのケースガイドに合わせて差し込みます。
 - ③ ケースを止まるまで右に回して、確実に取り付けます。
- 途中で一度止まりますが、さらに止まるまで回して固定します。



水路ガイド、ダクト (1週間に1回以上)

丸洗いです

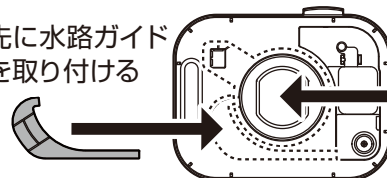
- 食器用中性洗剤を柔らかいスポンジに含ませて、水洗いします。
- 洗剤が残らないように水で洗い流して、乾いた柔らかいふきんで水分が残らないようにふき取り、よく乾燥させます。



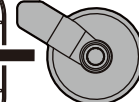
水路ガイドとダクトの取り付けかた

- ① 水路ガイドを水路に差し込んで取り付けます。
- ② ダクトを蒸発皿と送風ガイドの上にかぶせて取り付けます。

- ① 先に水路ガイドを取り付ける



- ② 次にダクトを取り付ける



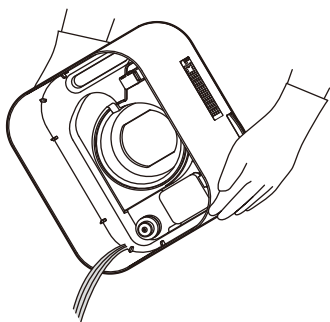
お手入れと保管

水槽、蒸発皿(1週間に1回以上)

(蛇口から直接水を流し入れながらお手入れをしない)

丸洗いできません

- 水槽と蒸発皿に残っている水を、排水方向に傾けて排水します。
- 水に浸した柔らかいふきんをよくしぼって、汚れをふき取ります。
- 落ちにくい汚れは、薄めた食器用中性洗剤に浸した柔らかいふきんをよくしぼってふき取るか、柔らかいブラシを使用して汚れを落とします。
さらに乾いた柔らかいふきんで、洗剤が残らないようにきれいにふき取ります。
- 給水フロートと水位フロート周りのごみは、取り除きます。
(フロートの周りに、ごみなどが付着すると、フロートが正常に動作しないことがあります)

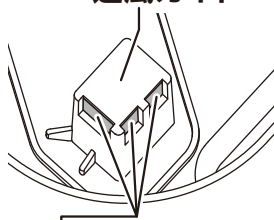


注意

※蒸発皿は、金属ブラシなどのかたいものでこすらないでください。
蒸発皿の表面に傷がつき、故障や腐食の原因になります。

本体背面側から送風ガイドを見た図

送風ガイド



送風口 ※水入厳禁

故障・ショート・感電・火災の原因になるので、送風口に絶対水を入れない

ワンポイントアドバイス

■ 蒸発皿の水アカ(カルキ)がお手入れしてもきれいにならないときは

- 酢かレモン果汁 25mL またはクエン酸 6g を混ぜた水 1L を水タンクに入れます。
- 約15分加湿運転し、十分冷めてからお手入れをします。
※下記内容に十分注意してください。(蒸発皿の表面が傷む原因になります)
- 濃度を濃くしない
- 15分以上加湿運転しない
- 酢、レモン果汁、クエン酸でのお手入れを頻繁にしない

蒸発皿の水アカは、必ずお手入れしてください。

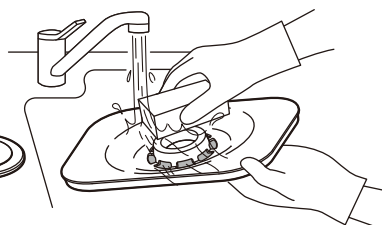
※本製品は、ヒーターで水を加熱して沸騰させたスチームで加湿しています。
水を沸騰させることで、水道水に含まれているカルキ(カルシウムなどのミネラル分)が水アカとなって蒸発皿に付着しますので、必ず1週間に1回以上こまめにお手入れをしてください。
水アカを放置すると固着して取れなくなり、加湿量が低下したり、内部の温度が上がって安全装置が働いたり、蒸発皿取り付け部に水アカが浸入して腐食し、水漏れなどの原因になります。

お手入れと保管

ふた、ノズル (1週間に1回以上)

丸洗いでできます

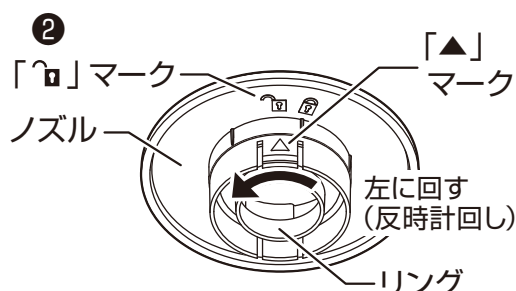
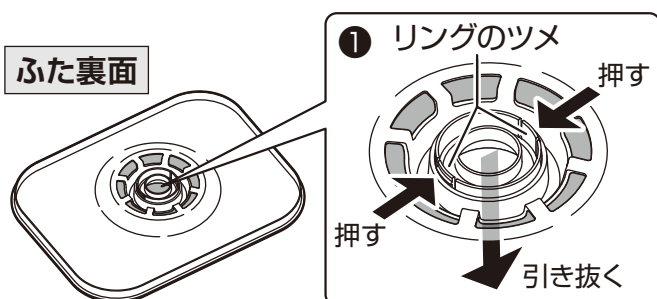
- 食器用中性洗剤を柔らかいスポンジに含ませて、水洗いします。
- 洗剤が残らないように水で洗い流して、乾いた柔らかいふきんで水分が残らないようにふき取り、よく乾燥させます。



ノズルとリングの取り外しかた

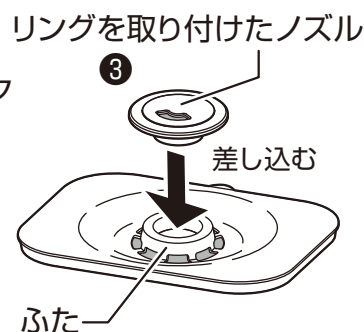
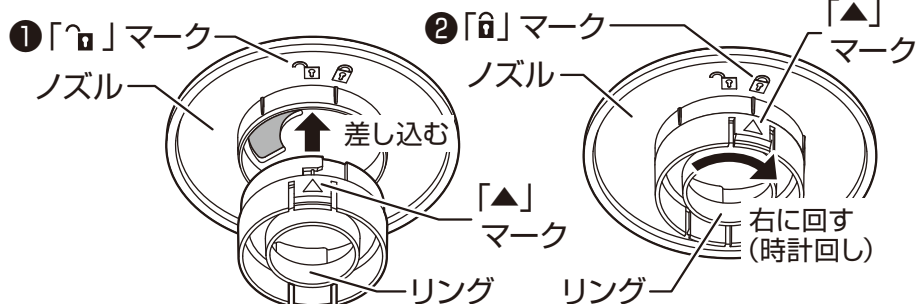
- ① リングのツメを内側に押しながら、ノズルを引き抜きます。
- ② リングの「▲」マークが、「㊦」マークに合うまでリングを左に回して取り外します。

ふた裏面



リングとノズルの取り付けかた

- ① リングの「▲」マークを「㊦」マークに合わせて、ノズルにリングを差し込みます。
- ② リングの「▲」マークが「㊦」マークに合うまで、リングを右に回して確実に取り付けます。
- ③ リングを取り付けたノズルを、ふたに確実に差し込みます。



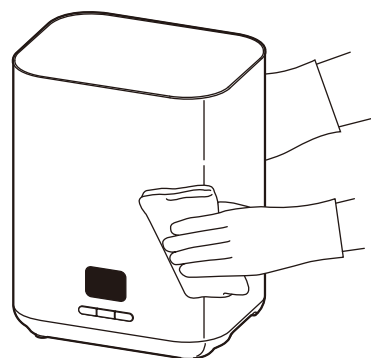
本体 (適時)

丸洗いでできません

- 乾いた柔らかいふきんで、ホコリや汚れをふき取ります。
- 落ちにくいホコリや汚れは、薄めた食器用中性洗剤に浸した柔らかいふきんをよくしぼって、ふき取ります。さらに乾いた柔らかいふきんで、洗剤が残らないようにきれいにふき取ります。

注意

※操作部、表示部、マグネットプラグ受けをぬらさないように、注意してください。
ショート・感電・火災の原因になります。



お手入れと保管

吸気フィルター、フィルターカバー（適時）

丸洗いです

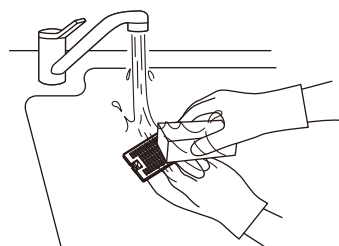
吸気フィルターのお手入れ

- 吸気フィルターをよくはたいて、ホコリを落とします。
- 落ちにくいホコリや汚れは、薄めた食器用中性洗剤に吸気フィルターを浸して、軽くもみ洗います。
- 洗剤が残らないように水で洗い流して、よく乾燥させます。



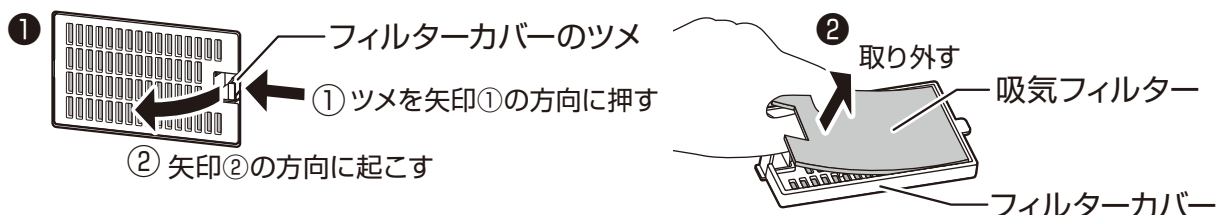
フィルターカバーのお手入れ

- 掃除機のソフトブラシで、ホコリを吸い取ります。
- 乾いた柔らかいふきんで、ホコリや汚れをふき取ります。
- 落ちにくいホコリや汚れは、食器用中性洗剤を柔らかいスポンジに含ませて、水洗いします。
- 洗剤が残らないように水で洗い流して、乾いた柔らかいふきんで水分が残らないようにふき取り、よく乾燥させます。



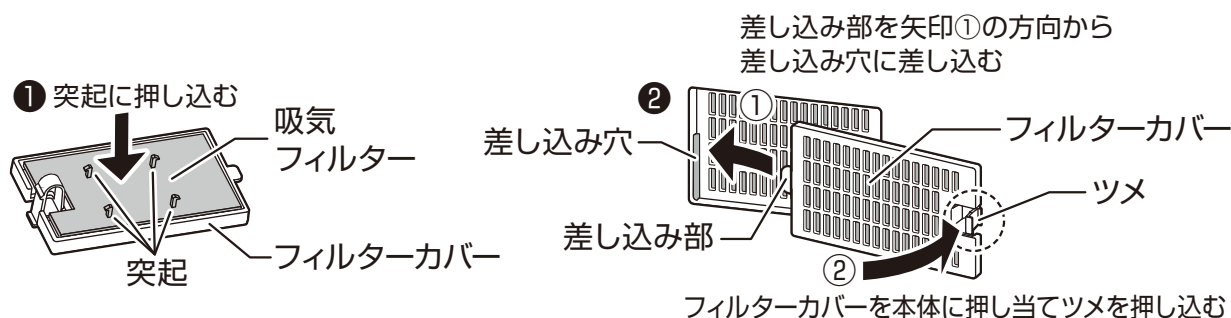
吸気フィルターの取り外しかた

- ① フィルターカバーのツメを押しながら、手前に起こしてフィルターカバーを取り外します。
- ② フィルターカバーから、吸気フィルターを取り外します。



吸気フィルターの取り付けかた

- ① 吸気フィルターをフィルターカバーの突起に押し込んで取り付けます。
- ② フィルターカバーの差し込み部を本体の差し込み穴に差し込み、フィルターカバーを本体に押し当て、ツメを押し込んで確実に取り付けます。

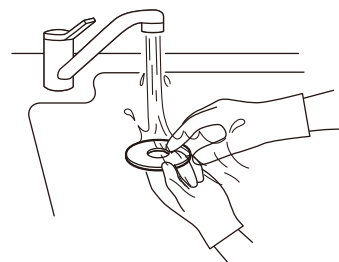


お手入れと保管

水アカフィルター（1週間に1回以上）

丸洗いでできます

- 水アカフィルターは、1週間（1日約13時間使用したとき）に1回以上は手揉み洗いをします。
よく乾かしてから軽く揉みほぐして、水アカをはらい落とします。
- 水アカフィルターは、消耗品です。
お手入れしても汚れが落ちなかったり、フィルター内部に水アカが残りがたくなったり、破れたときは交換します。
※水アカフィルターの購入については、22ページの「アフターサービスについて」を参照してください。



保 管

- 保管の前は、必ずお手入れをします。
- お手入れ後は、よく乾燥させてからポリ袋をかぶせ、直射日光や湿気を避けて保管します。
（湿ったまま保管すると、カビの発生、異臭、故障の原因になります）

注 意

※電源コードの根元を曲げたり、電源コード、電源プラグ、マグネットプラグに力が加わるような状態で、保管しないでください。異常発熱・ショート・火災の原因になります。

仕 様

電 源	AC 100V（50-60Hz共用）
消 費 電 力	400W
製 品 寸 法（約）	幅：255mm×奥行：200mm×高さ：320mm
製 品 質 量（約）	2.4kg
コ ー ド 長（約）	1.5m
水 タ ン ク 容 量	4.0L
※加 湿 量（約）	「Lo」200mL/h 「Mi」350mL/h 「Hi」500mL/h
※連 続 使 用 時 間（約）	「Lo」20時間 「Mi」11時間 「Hi」8時間
※適 用 床 面 積（約）	木造和室：8.5畳 プレハブ洋室：14畳 ※「Hi」運転時
安 全 装 置	空だき防止機能：給水ランプ（赤色）点灯時、ヒーターOFF
	電流ヒューズ
	温度ヒューズ、サーモスタット（温度過昇防止装置）

- 製品寸法、製品質量に電源コード（マグネットプラグ）は、含まれていません。
- 製品の仕様や外観は、改善のため予告なく変更することがあります。

■ 本製品の加湿能力について（仕様欄の※印）

加湿量、連続使用時間、適用床面積につきましては、室温20℃・湿度40～60%の条件のもとで測定した値を表示しています。製品の加湿能力は、部屋の温度・湿度、部屋の構造・材質、使用されている暖房機器などの影響で変化します。
使用される条件によっては、表示値に対して差異が生じることがあります。

■ 電気代について

1時間あたり 約12.4円 ※「Hi」運転時
（電気代は、電気料金目安単価 31円/kWhをもとに算出しています）

故障かな？と思ったら

※お問い合わせや修理を依頼される前に、下記を確認してください。

症 状	原 因	処置 または お知らせ
加湿運転しない	●電源プラグがコンセントから抜けていませんか？	●電源プラグを根元まで確実に、家庭用コンセント (AC100V) に差し込んでください。
	●マグネットプラグがマグネットプラグ受けから外れていませんか？	●マグネットプラグをマグネットプラグ受けに、確実に接続してください。
	●給水ランプ (赤色) が点灯していませんか？	●水槽の水位が規定以下になると、給水ランプ (赤色) が点灯して給水をお知らせします。 水タンクに水を入れて、加湿運転を再開してください。
水漏れする	●直射日光が当たる場所や温度が高くなる場所に設置したり、水路ガイドやダクトを外したまま加湿運転していませんか？	●直射日光の当たる場所や温度が高くなる場所に設置したり、ダクトを外して加湿運転すると、水タンクが変形するなどして、水漏れの原因になります。 直射日光が当たる場所や温度が高くなる場所を避け、水路ガイドやダクトを必ず取り付けて加湿運転してください。
スチームの出が悪い スチームが見えない	●室温が高かったり、湿度が低い環境ではありませんか？	●室温が高かったり、湿度が低いなどの使用環境によっては、スチームが空気中に気化しやすくなるなどで、使い始めや加湿運転中にスチームが見えにくいことがあります。
	●蒸発皿が汚れていませんか？	●蒸発皿のお手入れをしてください。
	●吸気口がホコリなどで目詰まりしていませんか？	●吸気口のお手入れをしてください。
加湿運転中に音がする	●沸騰音ではありませんか？	●水を沸騰させたスチームで加湿していますので、加湿運転中は沸騰音がしますが、故障や異常ではありません。
スチームが臭う	●水槽や蒸発皿が汚れていませんか？	●水槽や蒸発皿をお手入れしてください。
表示部の湿度表示とお部屋の湿度計の湿度が違う	●表示部の湿度表示は、本体周辺の湿度を感知して表示しています。	●お部屋全体の湿度を感知するものではありませんので、お部屋の湿度計と異なることがあります。
「Auto」で加湿運転しても湿度表示が50%～60%にならない	●使用環境によっては、湿度表示が50%～60%にならないことがあります。	●お部屋の室温や湿度、常に換気をしているなどの使用環境によっては、湿度表示が50%～60%にならないことがあります。
電源ボタンを押してもすぐに電源がOFFにならない	●加湿量ランプが点滅していませんか？	●加湿量ランプが点滅しているときは、ダクトやノズル (吹出口) を冷やすため、1分間の冷却送風運転をおこなっています。 冷却送風運転終了後、電源がOFFになります。
照明器具がちらつく		●本製品は、ヒーターを制御して水温や加湿量を調節しながら運転しており、制御にともなって消費電力が変動します。 消費電力が変動することで屋内の電圧が変動して、お使いの照明器具の種類によっては一瞬暗くなったり、ちらつくことがあります。

点検のお願い

安全に長くご愛用いただくために
日頃から点検をおこなってください。

★こんな症状はありませんか？

- 電源コード、電源プラグ、マグネットプラグが異常に熱い。
- 電源コード、電源プラグ、マグネットプラグに深い傷や被覆破れがある。
- 電源プラグやマグネットプラグが変形している。
- 電源コードを動かすと通電したり、しなかったりする。
- 水漏れする。
- 変形や破損している。
- 異常な音がする。
- 本体に触れるとピリピリと電気を感じる。
- 本体が異常に熱かったり、こげ臭いなどの異臭がする。
- その他の故障や異常がある。

- 電源プラグ、マグネットプラグ、マグネットプラグ受けやコンセントにホコリやごみが付着している。

★異常があれば

使用中止 !!

故障や事故防止のため、
電源プラグをコンセント
から抜いて、必ず販売店
に点検・修理を依頼して
ください。

ホコリやごみを取り除いて
ください。

アフターサービスについて

●本製品は、保証書が付いています。

お買い上げの際に、販売店より必ず保証欄の
「お買い上げ年月日」と「販売店印」の記入を
受けてください。

●保証期間は、お買い上げ日より1年です。

保証期間中の修理は、お買い上げの販売店に
依頼してください。

保証書の記載内容により、修理いたします。
その他詳細は、保証書を参照してください。

※ただし水アカフィルターは、消耗品ですので
水アカフィルターの注文は、保証期間内でも
有料とさせていただきます。

●保証期間経過後の修理（有料）については、 お買い上げの販売店に、依頼してください。

●本製品の補修用性能部品の保有期間は、製造 打ち切り後6年です。

補修用性能部品とは、その製品の機能を
維持するために、必要な部品です。

●消耗品（水アカフィルター）の購入については、 お買い上げの販売店か下記に記載の連絡先 までお問い合わせください。

ノズルなどのサービスパーツについては、
お買い上げの販売店に、お問い合わせください。

■消耗品

品名：山善 スチーム式加湿器用
交換用 水アカフィルター（3枚入）
品番：VH40F-3P

※販売店で購入するときは、上記内容をお伝え
いただきますようお願いいたします。

■ 使いかたやお手入れなどのお問い合わせは下記へ

本製品についての取り扱いや、お手入れ
方法のお問い合わせ、転居されたり贈答品
などで、販売店に修理の依頼ができない
場合は、下記へお問い合わせください。

「山善 家電お客様サービス係」

ナビダイヤル  0570-077-078

※PHS、IP電話など一部の電話からは、利用できません。
受付時間：10：00～17：00（土、日、祝日を除く）

FAXまたはEメールでのお問い合わせも
受け付けています。

その際は、製品名、品番、お問い合わせ
内容、お名前、電話番号を記入のうえ、
お問い合わせください。

●FAXでの  0120-680-287

●Eメールでの info_m@yamazen.co.jp

個人情報の取り扱いについて

株式会社 山善およびその関係会社は、
お客様の個人情報やお問い合わせ
内容を、お問い合わせへの対応や
修理、その確認などのために利用し、
その記録を残すことがあります。
また、個人情報を適切に管理し、修理
業務などを委託する場合や正当な
理由がある場合を除き、第三者には
提供しません。

※お問い合わせのときは、保証書に記載の製品名、品番をお知らせください。